

## 企業向けサービス開始

### 六ヶ所で青い森クラウドベース



クラウドサービスを展開するデータセンターのサーバー棟＝7日、六ヶ所村(青い森クラウドベース提供)

六ヶ所村のむつ小川原開発地区でデータセンターを運営する「青い森クラウドベース」(弘前市、長内睦郎社長)は7日、同センターを拠点に、企業向けのクラウドサービス事業を開始した。

クラウドサービスは、企業が自社内で物理的に保有するシステム(サーバーやソフトウェア)を、ネットワーク上に仮想的に構築するもの。高価なシステムを持つ必要がなくなり、コストを削減できる。

同社は、ハードディスクやメモリーを小さい容量から月額制で提供する。サーバーの中核となるサーバー棟には、冷涼な外気、雪や氷を生かした冷房を活用。コストダウンを図って低価格を実現した。

同社によると、同様のサービスは一般的に従量課金制が取られている。そのため、膨大なデータの処理をすれば料金が跳ね上がってしまう、サービスのネックにもなっていたという。

長内社長は取材に「現状を打破するため、月額制を採用した」と強調。「小さな企業にもサービスを活用してほしい。六ヶ所でクラウドの『基地』を目指したい」と話した。

(桑田友人)